



「狭山事件と被差別部落」

狭山事件とは、埼玉県狭山市の県立高校に通う女子高校生（当時16歳）が、昭和38年5月1日、帰宅途中で行方がわからなくなり、その夜、犯人から脅迫状が届いた。

身代金受け渡しの際、警察は犯人と接触しながら取り逃がし、3日後の5月4日、自宅から3kmほど離れた農道から遺体となって女子高校生は発見された。捜査にいきづまり焦っていた警察は、犯行現場近くの被差別部落に捜査を集中し、被差別部落出身の石川一雄さん（当時24歳）を別件で逮捕した。

警察のみならず地元の人々は、加害者が「土地の者」ではなく「よそ者=部落」と捜査員から聞いたとたん急に捜査に協力的になるなど、差別による偏見により、石川さんが犠牲となったのではとの見方が世論では強く、改めて部落問題の根の深さを露呈した。

昭和39年に浦和地裁で死刑判決、昭和49年に東京高等裁判所で無期懲役の判決がだされ、昭和52年8月9日に最高裁で上告が棄却され、無期懲役が確定した。以後、獄中32年、仮出獄後18年の50年無実を訴えつづけている。

50年間、殺人犯というレッテルを背負いながら、泣き笑い怒り日々を“凜”と生き抜く夫婦の物語！

『SAYAMA みえない手錠をはずすまで』を上映します。

・完成記念上映会（105分）&トークイベント

日時：平成26年4月6日（日）

開場：午後1時、開演：午後1時30分

会場：山梨県立文学館講堂（甲府市貢川1-5-35）

前売り：1000円

当日：1200円

中高校生：500円

・トークイベント（上映後）

石川一雄夫妻、金聖雄監督、鎌田慧（ルポライター）

主催：SAYAMA山梨上映実行委員会



呼びかけ人

落合恵子（作家）、鎌田慧（ルポライター）、香山リカ（精神科医）、小室等

（音楽家）、桜井章司・杉山卓男（布川事件冤罪被害者）、佐高信（評論家）辛淑玉（人材育成コンサルタント）、菅谷利和（足利事件冤罪被害者）、中山千夏（作家）、庭山英雄（弁護士）、やくみつる（漫画家）

チケットにつきましては、山梨ブランチで取り扱っておりますので、皆さんご参加ください。

この世の中から少しでも差別、いじめがなくなるよう、当センターでは今後も活動を積極的に行っていきます。

国連NGO横浜国際人権センター・山梨ブランチ

代表 横山 隆史（全日本同和会山梨県連合会会長）

〒400-0831 甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階 Tel 055-243-8563